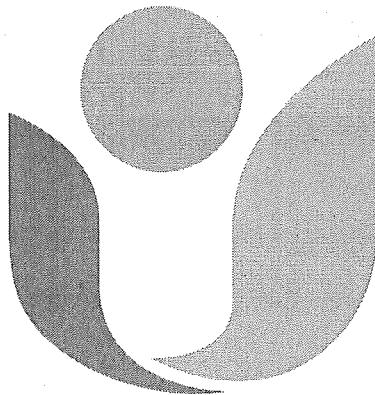


平成28年度
事務の管理及び執行の状況の点検
及び評価の結果に関する報告書

《平成27年度事業対象》



宇城市教育委員会

目 次

1 点検及び評価の概要	
(1) 点検及び評価の目的	1
(2) 評価委員の知見の活用	1
(3) 点検及び評価の対象	1
(4) 宇城市教育委員会評価委員会委員名簿	1
2 教育委員会の活動状況	
(1) 宇城市教育委員会名簿	2
(2) 平成27年度教育委員会の会議状況	2～6
(3) その他の会議状況	6
3 教育委員会事務局の組織と事務分掌	
(1) 事務局組織図	7
(2) 事務局及び事務分掌	8～9
4 点検及び評価	
教育課程特例校事業	10
国際国内交流事業	11
奨学金事業	12
市立小中学校フッ化物洗口事業	13
特別支援教育総合推進事業	14
非構造部材改修事業	15
学校大規模改修事業	16
公文書整理（アーカイブズ）業務	17
文化財調査保存及び指定業務	18～19
美術館施設収蔵庫管理業務	20
資料館管理業務	21
世界遺産推進の啓発に関する事業	22
宇城市体育協会補助金	23
各種スポーツ大会・教室開催に関する業務	24～26
学校給食提供事業	27
学校給食施設維持管理事業	28
学校給食施設建設事業	29
放課後子ども教室事業	30
学校・家庭・地域連携推進事業	31

宇城つ子のつどい	3 2
人権教育啓発イベント（人権フェスタ）運営業務	3 3～3 4
人権教育学習会（ふれ愛学習会）運営業務	3 5～3 6
講座の開設、運営に関すること	3 7
各種講座運営業務（インダストリアル研修館）	3 8
各種講座運営業務（働く女性の家）	3 9
図書館蔵書充実事業	4 0
図書館施設の統廃合事業	4 1

1 点検及び評価の概要

(1) 点検及び評価の目的

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定により、教育委員会が毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を行うことが義務付けられました。また、これを議会に提出するとともに、公表することで、効果的な教育行政の推進に資するとともに、住民への説明責任を果たすことを目的としています。

(2) 評価委員の知見の活用

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項の規定により、広い観点からの知見の活用を図るため、担当課が行った点検・評価（自己評価）について4人の評価委員から様々なご意見、ご助言をいただきました。

(3) 点検及び評価の対象

点検及び評価の対象事業は、平成27年度に実施したものの中から事業費が多額な事業、社会的関心が高い事業、在り方の検証が必要な事業及び主要・重点に取り組んだ事務事業の27事業を選定しました。

(4) 宇城市教育委員会評価委員会委員名簿

役職	氏名
委員長	池田 隆美
副委員長	緒方 昭二
委員	岩永 理恵
委員	上江 知義

《参考》

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 教育委員会の活動状況

(1) 宇城市教育委員会名簿（平成27年4月1日現在）

職名	氏 名	委員就任年月日	現任期
教育長	大槻 英	平成27年4月1日	平成27年4月1日 平成30年3月31日
委 員 (職務代理者)	長田 政敏	平成26年3月12日	平成26年3月12日 平成30年3月11日
委 員	木村 紀雄	平成24年3月24日	平成24年3月24日 平成28年3月23日
委 員	小野 隆夫	平成22年3月12日	平成26年3月12日 平成30年3月11日
委 員	佐高 久美	平成23年5月26日	平成25年3月12日 平成29年3月11日

※ 宇城市教育委員会委員定数条例

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第3条ただし書の規定に基づき、宇城市教育委員会は、教育長及び5人の委員をもって組織する。

(2) 平成27年度 教育委員会の会議状況

◇ 4月定例会

日時：平成27年4月21日（火）

場所：宇城市役所3階 第1会議室

前回会議録の承認 / 教育長報告

[議題]宇城市教育目標の制定について

宇城市教育部関係補助金交付要綱の制定について

専決処分の報告について

- ・宇城市中央公民館館長の任命について
- ・宇城市社会教育指導員の委嘱について
- ・宇城市地域人権教育指導員の委嘱について
- ・宇城市青少年教育担当指導員の委嘱について
- ・宇城市立学校の学校評議員の委嘱について
- ・宇城市社会教育委員の委嘱について
- ・宇城市公民館運営審議会委員の委嘱について
- ・宇城市働く女性の家運営審議会委員の委嘱について
- ・宇城市スポーツ推進委員の委嘱について
- ・宇城市立図書館協議会委員の任命について
- ・区域外就学について
- ・学校変更について

◇ 5月定例会

日時：平成27年5月25日（月）
場所：宇城市役所3階 第1会議室

前回会議録の承認 ／ 教育長報告

- [議題] 平成27年度宇城市奨学生の認定について
奨学金返還猶予申請の承認について
専決処分の報告について
・区域外就学について
学校変更の承認について

◇ 6月定例会

日時：平成27年6月16日（火）
場所：宇城市役所3階 第1会議室

前回会議録の承認 ／ 教育長報告

- [議題] 専決処分の報告について
・宇城市不知火美術館運営協議会委員の委嘱について
・宇城市文化ホール運営審議会委員の委嘱について
・宇城市不知火美術館休館日について
・宇城市人権教育推進協議会委員の委嘱について
・宇城市スポーツ推進委員の委嘱について
区域外就学の承認について
学校変更の承認について

◇ 7月定例会

日時：平成27年7月21日（火）
場所：宇城市役所3階 第1会議室

前回会議録の承認 ／ 教育長報告

- [議題] 専決処分の報告について
・宇城市学校給食運営委員会委員の委嘱について
・宇城市世界遺産登録推進本部設置要綱を廃止する訓令について
要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について
学校変更の承認について

◇ 8月臨時会

日時：平成27年8月7日（金）
場所：宇城市役所新館 第3委員会室

- [議題] 平成27年度宇城地区教科用図書採択について

◇ 8月定例会

日時：平成27年8月18日（火）
場所：宇城市役所3階 第1会議室

前回会議録の承認 ／ 教育長報告

- [議題] 事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果に関する報告書について
宇城市立図書館条例の一部を改正する条例の制定について

宇城市立郷土資料館条例の一部を改正する条例の制定について
学校変更の承認について
区域外就学の承認について
専決処分の報告について
・宇城市青少年教育担当指導員の委嘱について
・学校変更について
・区域外就学について

◇ 9月定例会

日時：平成 27 年 9 月 24 日（木）
場所：宇城市役所 3 階 第 1 会議室

前回会議録の承認 ／ 教育長報告

[議題] 専決処分の報告について

- ・宇城市スポーツ推進委員の委嘱について
- 国指定名勝不知火及び水島に係る現状変更の許可について
- 学校変更の承認について
- 区域外就学の承認について

宇城市自治公民館等整備費補助金交付要綱の一部改正について

◇ 10月定例会

日時：平成 27 年 10 月 13 日（火）
場所：宇城市役所 3 階 第 1 会議室

前回会議録の承認 ／ 教育長報告

[議題] 宇城市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則の制定について
宇城市総合教育会議設置要綱の制定について
学校変更の承認について
区域外就学の承認について

◇ 11月定例会

日時：平成 27 年 11 月 11 日（水）
場所：宇城市役所 3 階 第 1 会議室

前回会議録の承認 ／ 教育長報告

[議題] 宇城市公民館条例の一部を改正する条例の制定について
宇城市インダストリアル研修館条例の一部を改正する条例の制定について
宇城市立体育馆条例の一部を改正する条例の制定について
学校変更の承認について
区域外就学の承認について

◇ 12月定例会

日時：平成 27 年 12 月 17 日（木）
場所：宇城市役所 3 階 第 1 会議室

前回会議録の承認 ／ 教育長報告

[議題] 区域外就学の承認について
学校変更の承認について

◇ 1月定例会

日時：平成 28 年 1 月 19 日（火）
場所：宇城市役所 3 階 第 1 会議室

前回会議録の承認 ／ 教育長報告

[議題] 宇城市教育委員会公印規程の一部を改正する訓令の制定について
宇城市立体育館条例施行規則の一部改正する規則の制定について
専決処分の報告について
・区域外就学の承認について

◇ 2月定例会

日時：平成 28 年 2 月 12 日（金）
場所：宇城市役所新館 第 4 委員会室

前回会議録の承認 ／ 教育長報告

[議題] 専決処分の報告について
・世界遺産三角西港修復・整備活用委員会運営要綱の制定について
・宇城市文化的景観整備活用委員会運営要綱の制定について
・区域外就学について
・学校変更について
宇城市中学生海外派遣研修事業実施要綱の一部を改正する要綱の制定について
宇城市就学援助費扶助要綱の一部を改正する要綱の制定について
宇城市立小中学校管理規則の一部を改正する規則の制定について
宇城市立小中学校事務支援室の組織及び運営に関する規程の一部を改正する規程の制定について
宇城市学校事務センターの組織及び運営に関する規程の制定について
宇城市教育委員会教育長事務委任規程の一部を改正する規程の制定について
宇城市公民館条例施行規則の一部を改正する規則の制定について
宇城市働く女性の家条例施行規則を廃止する規則の制定について
宇城市インダストリアル研修館条例施行規則の一部を改正する規則の制定について
学校変更の承認について

◇ 2月臨時会

日時：平成 28 年 2 月 27 日（土）
場所：宇城市役所 3 階 教育長室

教育長報告

[議題] 宇城市立小・中学校教員の人事異動の内申について

◇ 3月定例会

日時：平成 28 年 3 月 17 日（火）
場所：宇城市役所 3 階 第 1 会議室

前回会議録の承認 ／ 教育長報告

[議題] 宇城市教育部関係補助金交付要綱を廃止する告示について

宇城市教育部関係補助金交付要綱を制定する告示について
宇城市立小中学校管理規則の一部を改正する規則の制定について
宇城市立小中学校就学等に関する規則の一部を改正する規則の制定について
宇城市奨学金条例施行規則の一部を改正する規則の制定について
宇城市教育委員会評価委員会設置要綱及び宇城市教育課程特例校事業推進委員会設置要綱の一部を改正する告示の制定について
宇城市立学校給食センター条例施行規則一部を改正する規則の制定について
区域外就学の承認について
学校変更の承認について
市指定史跡大塚古墳に係る現状変更の許可について
専決処分の報告について
・区域外就学の承認について
・学校変更について

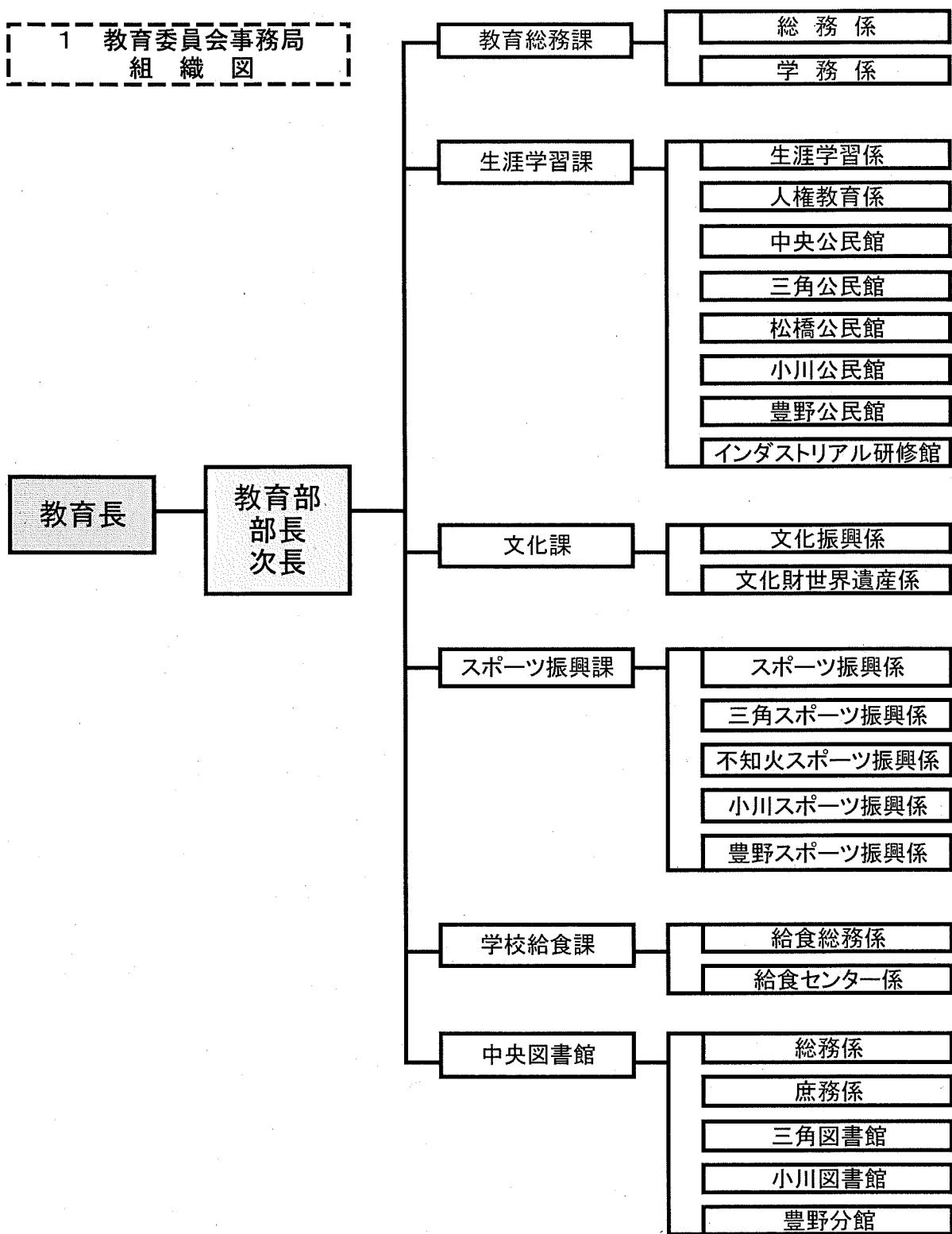
(3) その他の会議状況

- ・熊本県市町村教育委員大会
- ・宇城市町教育委員全員研修会
- ・総合教育会議
- ・教育委員行政視察研修
- ・学校訪問
- ・各小中学校入学式・卒業式
- ・各学校運動会
- ・成人式典
- ・学校給食試食会
- ・その他各種イベント等への出席

III 教育委員会事務局

<H28. 4. 1現在>

1 教育委員会事務局
組織図



課名	係名	事務分掌
教育総務課	総務係	<p>1 教育委員会の会議に關すること。 2 教育委員会の總括に關すること。 3 条例、規則及び規程等の制定改廃に關すること。 4 公告式に關すること。 5 公印の管理に關すること。 6 文書の收受、発送及び保管に關すること。 7 訴訟及び不服申立て並びに請願及び陳情に關すること。 8 教育委員会職員(県費負担教職員を除く。以下同じ。)の人事、給与及び服務に關すること。 9 教育委員会の臨時、非常勤職員に關すること。 10 教育委員会職員の研修及び福利厚生に關すること。 11 叙位、叙勳事務に關すること。 12 教育行政相談に關すること。 13 奨学生に關すること。 14 教育調査統計に關すること。 15 独立行政法人日本スポーツ振興センターに關すること。 16 國際交流に關すること。 17 語学指導に關すること。 18 課の庶務に關すること。 19 その他教育総務に關すること。</p>
	学務係	<p>1 県費負担教職員(以下「教職員」という。)の人事及び給与の内申に關すること。 2 学級編制及び教職員の配置に關すること。 3 教職員の免許申請に關すること。 4 学校等の設置、廃止及び統合に關すること。 5 学校運営管理及び教育内容の指導に關すること。 6 通学区の設定に關すること。 7 学校及び幼稚園の予算に關すること。 8 就学援助に關すること。 9 教科用図書の給与に關すること。 10 スクールバスの運行に關すること。 11 児童生徒の就学及び転学に關すること。 12 学齢簿の作成及び整理に關すること。 13 学校保健、環境衛生に關すること。 14 学校人権教育に關すること。 15 就学指導に關すること。 16 幼稚園教育に關すること。 17 幼稚園就園奨励に關すること。 18 幼稚園の授業料に關すること。 19 教育課程の研究指導に關すること。 20 学習指導の助言に關すること。 21 生活指導及び進路指導に關すること。 22 教科用図書の採択研究及び学習資料に關すること。 23 学校教育施設の管理に關すること。 24 学校教育財産の取得及び処分に關すること。 25 学校施設台帳に關すること。 26 その他学校教育に關すること。</p>
学校給食課	給食総務係	<p>1 学校給食に關すること。 2 給食に必要な物資の購入及び支出に關すること。 3 給食器具の洗浄、消毒及び保管に關すること。 4 文書の收受、発送及び保管に關すること。 5 会計及び経理に關すること。 6 施設設備の維持管理に關すること。 7 食品及び調理場の設備の衛生管理並びに職員の健康管理に關すること。 8 給食指導の計画及び実施に關すること。 9 課の庶務に關すること。 10 その他学校給食に關すること。</p>
	給食センター係	<p>1 学校給食センターに關すること。 2 給食に必要な物資の購入及び支出に關すること。 3 給食器具の洗浄、消毒及び保管に關すること。 4 文書の收受、発送及び保管に關すること。 5 会計及び経理に關すること。 6 学校給食施設の工事の設計、施行及び維持管理に關すること。 7 食品及び調理場の設備の衛生管理並びに職員の健康管理に關すること。 8 給食指導の計画及び実施に關すること。 9 その他学校給食センターに關すること。</p>
生涯学習課	生涯学習係	<p>1 社会教育に係る計画策定及び資料の作成に關すること。 2 社会教育委員に關すること。 3 生涯学習の推進に關すること。 4 成人教育に關すること。 5 社会教育団体の育成指導に關すること。 6 社会教育機関の連絡調整に關すること。 7 青少年の教育及び健全育成に關すること。 8 文書の收受、発送及び保管に關すること。 9 課の庶務に關すること。 10 その他生涯学習に關すること。</p>
	人権教育係	<p>1 人権教育の企画及び連絡調整に關すること。 2 人権教育指導員に關すること。 3 人権教育の指導及び助言に關すること。 4 人権教育の調査及び資料作成に關すること。 5 人権教育の研修に關すること。 6 人権教育に関する学習講座に關すること。 7 人権教育推進協議会及び人権教育関係団体に關すること。 8 その他人権教育に關すること。</p>

課名	係名	事務分掌
	中央公民館 三角公民館 松橋公民館 小川公民館 豊野公民館 インダストリアル研修館	1 公民館講座の開設及び運営に関すること。 2 公民館事業の企画、立案及び指導に関すること。 3 公民館運営審議会に関すること。 4 関係諸団体及び組織との連絡調整に関すること。 5 自治公民館に関すること。 6 公民館の維持管理に関すること。 7 家庭教育学級に関すること。 8 視聴覚教育に関すること。 9 社会教育指導員に関すること。 10 その他公民館に関すること。
文化課	文化振興係	1 芸術文化の振興及び育成に関すること。 2 文化的まちづくりの推進に関すること。 3 芸術文化団体に関すること。 4 文化ホールに関すること。 5 美術館に関すること。 6 文書の収受、発送及び保管に関すること。 7 その他文化振興に関すること。
	文化財世界遺産係	1 文化財の調査、保存及び活用に関すること。 2 文化財愛護思想の普及に関すること。 3 郷土資料館に関すること。 4 文化財保護審議会に関すること。 5 世界遺産の保存管理に関すること。 6 その他文化財に関すること。
スポーツ振興課	スポーツ振興係 三角スポーツ振興係 不知火スポーツ振興係 小川スポーツ振興係 豊野スポーツ振興係	1 スポーツの調査、振興及び普及に関すること。 2 体育指導委員会に関すること。 3 各体育団体の育成に関すること。 4 各種スポーツ大会開催に関すること。 5 地域スポーツ活動の推進に関すること。 6 スポーツ事故等災害見舞金に関すること。 7 スポーツ安全協会傷害保険に関すること。 8 社会体育施設の維持・管理に関すること。 9 社会体育施設の設置に関すること。 10 社会体育施設の施設台帳に関すること。 11 社会体育施設の工事の設計・施工及び監理に関すること。 12 体育振興関係団体との連絡調整に関すること。 13 文書の収受、発送及び保管に関すること。 14 学校体育施設の開放に関すること。 15 指定管理に関すること。 16 運動部活動の社会体育移行に関すること。 17 課の庶務に関すること。 18 その他社会体育施設、スポーツ振興に関すること。
中央図書館	総務係	1 図書館運営全般に関すること。 2 図書館協議会に関すること。 3 宇城地区図書館等活動振興協議会に関すること。 4 各図書館の連絡調整に関すること。 5 図書館の維持管理に関すること。 6 臨時、非常勤職員の任用に関すること。 7 予算・決算に関すること。 8 その他図書館の庶務に関すること。
	庶務係	1 図書館事業の企画、立案及び指導に関すること。 2 学校・団体等への読書サービスに関すること。 3 図書館資料の収集、整理、保存及び利用に関すること。 4 図書館資料の閲覧及び貸出に関すること。 5 読書相談及び参考業務に関すること。 6 資料の除籍に関すること。 7 その他図書館奉仕に関すること。
	三角図書館 小川図書館 豊野分館	1 図書館資料の収集、整理、保存及び利用に関すること。 2 図書館資料の閲覧及び貸出に関すること。 3 読書相談及び参考業務に関すること。 4 その他図書館奉仕に関すること。 5 その他図書館庶務（中央図書館に属するものは除く。）に関すること。

平成27年度 宇城市教育委員会点検及び評価報告書 教育総務課 総務係

事業名	教育課程特例校事業						
政策施策名 (総合計画)	5	ユニークな文化と心とひとつづくり～役割を担い合う協働社会の形成～					
	08	地域内・国内・国際交流					
	1	国際交流の充実と国際化の推進					
事業費	項目	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	合計
	予算額(千円)					18,320	18,320
	決算額(千円)					17,767	17,767
	執行率(%)					97.0	97.0
	人件費(千円)					4,740	4,740
	決算額+人件費					22,507	22,507

事業の目的

小中学校9年間を通して、21世紀の国際社会に貢献し、持続可能な社会の担い手となる児童生徒を育成するために、「小学校英会話科」（うきうきイングリッシュ）と総合的な学習の時間の中に「伝統・食文化」を位置づけた教育課程の編成を行う。また、国際交流事業において中学生の海外視察研修を実施することは、「豊かな人間性」「かかわり・つながりを尊重する態度」を育む宇城市学校教育の一躍を担っている。

平成27年度 事業内容

《英会話科について》

小学校英会話科「うきうきイングリッシュ」（各学年 年間35時間）

1年～2年生…ゲームや歌などの活動を通じて、簡単な英語を使ったあいさつや会話を楽しむ。

3年～6年生…ゲームや歌などの英語活動を楽しみながら、日常生活における簡単なあいさつに親しみ、慣れる。

《伝統・食文化について》

総合的な学習の時間に、宇城市独自で作成したテキスト「UKI うき伝統文化学習」を教材に、地域の伝統・食文化に関する体験や調べ学習、食文化に関しての地産地消の学習、日本の文化、熊本の文化、宇市の文化に関する学習、外国の文化を日本の文化と比較することにより理解する学習を実施する。

目標と実績	平成27年度 達成目標		平成27年度 実績	
	全校児童生徒数 4,828人	・英会話授業実施時間数 210時間	全校児童生徒数 4,828人	・英会話授業実施時間数 210時間
事務局自己評価	英語が好きだと答えた児童割合約95%	2校2学級からアンケートをとり、好きと答えた児童が1校は93.3%、もう1校は100%であった。	・郷土の良さを見つけ、郷土を愛する態度を育てる。	・郷土の良さを見つけ、郷土を愛する態度を育てよう取り組んだ。
	評価	・各小学校において、ゲームや歌などの英語活動を楽しみながら、英会話の魅力を子どもたちに伝える事業ができた。 ・郷土の伝統文化、食文化、自然、歴史などを学び、郷土の良さを見つけ、郷土を愛する態度を育てようと取り組んだ。	・英会話科のありかたを再認識し、小学校6年間を中学校の外国語へしっかりとつなぐための小中交流をもとにした連携と工夫・改善が必要である。 ・伝統・食文化テキスト「UKI うき伝統文化学習」の授業等への更なる活用が望まれる。	・伝統・食文化学習の各学校の創意工夫を生かした取り組みを更に進める。
	課題	今後の対応	・小学校担任と英会話講師並びに中学校英語担任との全員研修会等を行い、担任と英会話講師の授業力を高める。 ・伝統・食文化学習の各学校の創意工夫を生かした取り組みを更に進める。	英会話科においては、新学習指導要領(H32実施)を見据えた研修を実施してほしい。 特に担任の授業力、指導力を高める研修や中学校への円滑な接続を意識した研修会の開催。 伝統・食文化においては、今後もテキストを活用した取り組みをお願いする。
有識者意見	今後の方向性	拡充・維持・縮小・改善・完了	付帯意見	英会話科においては、新学習指導要領を見据え担任を対象とした研修会を実施して頂きたい。伝統・食文化においては、テキストを活用した更なる取り組みをお願いしたい。
教育委員会総合評価				

平成27年度 宇城市教育委員会点検及び評価報告書 教育総務課 総務係

事業名		国際国内交流事業							
政策施策名 (総合計画)	5	ユニークな文化と心とひとつづくり～役割を担い合う協働社会の形成～							
	08	地域内・国内・国際交流							
	1	国際交流の充実と国際化の推進							
事業費	項目	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			
	予算額(千円)					2,623			
	決算額(千円)					2,457			
	執行率(%)					93.7			
	人件費(千円)					4,710			
	決算額+人件費					7,167			
事業の目的									
平成17年度から夏休みの期間中、異文化との交流や体験を通じて豊かな国際感覚を身に付ける青少年の育成を目的とする。									
平成27年度 事業内容									
市内中学校から募集し、英語圏（シンガポール）・中国語圏へ海外派遣し、ホームステイによる生活体験、現地学校生徒との交流及び学校等の訪問の国際親善活動に参加する。									
諸事情により平成25年度から中国語圏への派遣は中止。									
平成27年度のシンガポールからの宇城市訪問では、初めての試みとして、県立豊野少年自然の家を利用して、シンガポールへ行った生徒だけでなく、他の生徒とも交流を行った。1泊2日28名参加があった。									
目標と 実績	平成27年度 達成目標			平成27年度 実績					
	派遣生徒数 10名（英語圏のみ）			派遣生徒数 10名（英語圏のみ）					
事務局 自己評価	評価	8月に宇城市からシンガポールへ、11月にはシンガポールから宇城市に訪問し、お互いホームステイを行うことにより、お互いの文化や歴史、風習などと触れ合うことで国際理解を深めることができた。11月の受け入れ校の豊野中では、派遣生徒の発表の場を設け、多くの生徒へも国際理解の大切さを伝えることができた。							
	課題	派遣生徒の募集において、参加希望者が定数を超えた場合、生徒選定の際の線引きが難しい。H26：申請16人(8人)、H27：申請19人(10人)							
	今後の対応	今後もシンガポール研修を固定化し、毎年10名程度が研修できる環境を確保する。各中学校に派遣生徒の発表の場を設けるようお願いする。							
有識者 意見	各学校において、派遣生徒の発表の場を設けて多くの生徒へ国際理解の大切さを伝えて頂きたい。								
教育 委員会 総合評価	今後の方向性	拡充・維持・縮小・改善・完了							
	付帯意見	今後もこの事業を継続して実施していくためにも、派遣生徒の発表の場を設けて、多くの生徒へ国際理解の大切さを伝えてほしい。							

平成27年度 宇城市教育委員会点検及び評価報告書 教育総務課 総務係

事業名		奨学金事業						
政策施策名 (総合計画)		施策内容に当てはまらない事務事業						
事業費	項目	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
	予算額(千円)				19,344	19,344		
	決算額(千円)				19,142	19,142		
	執行率(%)				99.0	99.0		
人件費(千円)					4,500	4,500		
決算額+人件費					23,642	23,642		
事業の目的								
学校教育法に規定する高等学校、高等専門学校、短期大学、大学又は専修学校の高等課程若しくは専門課程に在学する者で、経済的理由により就学が困難なものに対し奨学金の貸付けを行い、社会に貢献し得る人材の育成を図ることを目的とする。								
平成27年度 事業内容								
◆貸付対象者								
1. 本市に居住する人の被扶養者 2. 学校等に在学している人 3. 経済的理由により就学が困難であると認められる人 4. 国、他の地方公共団体又はその他の団体から奨学金の貸付け措置を受けていない人								
◆貸付金額および定数								
1. 高等学校など 月額2万円 (定数10人) 2. 短期大学など 月額2万5千円 (定数10人) 3. 大学 月額3万円または5万円の選択 (定数20人)								
目標と実績	平成27年度 達成目標			平成27年度 実績				
	貸付予定数	11人 (当初予定数)	貸付実数	4人 (高校2人、大学2人)				
返還目標		85%	返還実績	94.8%				
(返還額／返還予定額)				(18,429,000円／19,445,450円)				
事務局自己評価	評価	基金が減少してきている中、申請者の税の滞納等を調査し、貸付審査を実施し、適正な貸付けを行った。 返還中の奨学生に対して、奨学金の返還についてのチラシを作成し、定期的な返還の意識づけを行った。また、滞納者に対して、文書及び電話による返還の催促や家庭訪問による催告を行い昨年度より返還収入が増えた。						
	課題	貸付後の滞納者をいかに完済に導くかが課題である。 適正な貸付け。						
	今後の対応	今後も文書及び電話による返還の催促の実施や家庭訪問による催告。また、督促状の発送を行い、返還金の確保に努める。 また、宇城市奨学金条例施行規則の見直しを行い、適正な貸付けを行う。						
有識者意見		貸付申請の受付の際に、奨学生が「奨学金を借りている」ということを知らなかつたということが無いようお願いする。						
教育委員会総合評価	今後の方向性	拡充・維持・縮小・改善・完了						
	付帯意見	宇城市奨学金施行規則の見直しと、今後も滞納者への返還強化を図り、健全な奨学金貸付事業を行って頂きたい。						

平成27年度 宇城市教育委員会点検及び評価報告書 教育総務課 学務係

事業名		市立小中学校フッ化物洗口事業						
政策施策名 (総合計画)	5	ユニークな文化と心とひとつづくり～役割を担い合う協働社会の形成～						
	01	学校教育						
	3	豊かな心と健やかな体の育成						
事業費	項目	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
	予算額(千円)		504			504		
	決算額(千円)		643			327		
	執行率(%)					96.2		
人件費(千円)					1,500	1,500		
決算額+人件費					1,827	2,470		
事業の目的								
市長施政方針に基づく事業であり、健やかな体を育む教育の一貫。小中学校児童生徒のむし歯予防策として、WHO や厚生労働省などの専門機関が効果的な手段として安全性とともに推奨している「フッ化物洗口」を実施する。								
平成27年度 事業内容								
平成26年度から市内全ての小学校で、在籍する児童（希望者）が週1回フッ化物洗口（ぶくぶくうがい）を実施。これを平成27年10月から全ての中学校でも実施する。								
目標と 実績	平成27年度 達成目標				平成27年度 実績			
	今年度、市内全小中学校でフッ化物洗口を実施する。				小学校では昨年度から継続して実施できた。中学校では予定どおり10月から実施できた。			
事務局 自己評価	評価	熊日新聞記事に、宇城市を含む宇城圏域の12歳児一人当たりの虫歯の本数が2014年度、県内で唯一全国平均1.00本を下回る0.89本であった（県平均1.31本）と、フッ化物洗口の効果が掲載された。						
	課題	薬剤が劇薬（規制区分）のため、保管や取扱いに厳重注意を要する。						
	今後の対応	フッ化物洗口は家庭でも簡単に行え、その効果は認められているところであるが、現実は家庭任せでは徹底を図ることができない。したがって、コストはかかるとしても、児童生徒の健やかな体を育む教育の一貫として、行政主導で実施していく。						
有識者 意見	効果も出ているので、このまま継続して実施して頂きたい。 フッ化物洗口の良さを周知して頂き、同意の取れてない子供たちも実施するようお願いしたい。							
教育 委員会 総合評価	今後の方向性	拡充・維持・縮小・改善・完了						
	付帯意見	今後も継続した実施をお願いしたい。						

平成27年度 宇城市教育委員会点検及び評価報告書 教育総務課 学務係

事業名		特別支援教育総合推進事業										
政策施策名 (総合計画)	5	ユニークな文化と心とひとつづくり～役割を担い合う協働社会の形成～										
	01	学校教育										
	2	障がいのある児童生徒の教育の推進										
事業費	項目	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源						
	予算額(千円)					44,447						
	決算額(千円)					43,092						
	執行率(%)					97.0						
人件費(千円)						4,050						
決算額+人件費						47,142						
事業の目的												
平成19年4月から「特別支援教育」が学校教育法に位置づけられ、障害のある児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するという視点に立ち、児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するため適切な指導及び必要な支援を充実していく。												
平成27年度 事業内容												
①宇城市特別支援連携協議会を設置し、実務担当者会及び地区コーディネーター会議の充実に取り組んだ。②専門性のある相談員を巡回相談員に委嘱し、小中学校の相談に対し支援充実のための指導・助言をいただき課題解決ができた。③支援を要する児童生徒に対して、担任のサポートとして学校生活及び学習活動の支援を行う特別支援教育支援員を配置し、授業が円滑に進められた。												
目標と 実績	平成27年度 達成目標				平成27年度 実績							
	①実務担当者会3回、地区コーディネーター会20回 ②巡回相談50件 ③生活支援員9人、学習支援員16人		①実務担当者会3回、地区コーディネーター会19回 ②巡回相談53件 ③生活支援員9人、学習支援員16人									
事務局 自己評価	評価	本事業については、支援学級に在籍する児童生徒の増加に加え、通常学級に在席し支援を要すると思われる児童生徒数も増加傾向にありニーズは益々高まっている。										
	課題	障害のある児童生徒の動向として、特に自閉症・情緒障害など、学習や生活面で特別な支援を必要とする児童生徒の割合が高くなってきており、一人一人に適切な教育的支援を行うためには支援員の増員が求められる。しかし、その費用は市単独費であるため、効率性との兼ね合いが懸念される。										
	今後の対応	例年、国に県市長会を通じて財政支援を要望しているところであるが、併せて、地区コーディネーター会議や研修会により、小中学校教職員の特別支援教育の専門性の向上を図る取り組みを行う。										
有識者 意見	各学校の希望に添えるような支援をして頂きたいが、最低でも現状維持をお願いする											
教育 委員会 総合評価	今後の方向性	拡充・維持・縮小・改善・完了										
	付帯意見	最低でも現状維持、出来れば増やすような対策をお願いしたい。										

平成 27 年度 宇城市教育委員会点検及び評価報告書 教育総務課 施設係

事業名		非構造部材改修事業							
政策施策名 (総合計画)	5	ユニークな文化と心とひとつづくり～役割を担い合う協働社会の形成～							
	01	学校教育							
	5	安心・安全な教育環境の整備と教職員の資質向上							
事業費	項目	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			
	予算額(千円)	76,274		183,900		87			
	決算額(千円)	53,097		84,300		83			
	執行率(%)					52.8			
人件費(千円)					6,750	6,750			
決算額+人件費						144,230			
事業の目的									
<p>平成 23 年 3 月に発生した東日本大震災で、非構造部材の落下により重大な被害が発生したことに鑑み、文部科学省が平成 27 年度まで速やかに落下防止策を講じるよう要請を出した。この要請に基づき、学校施設が災害時の地域住民緊急避難場所としての役割も兼ねていることから、特に重大な事故につながる体育館吊り天井について落下防止対策を講じるものである。</p>									
平成 27 年度 事業内容									
<p>対象施設は体育館及び講堂並びに武道館で、高さ 6m 超又は面積 200 m²超の一定規模以上の吊り天井、照明器具及びバスケットゴールなど、高所に設置されたものの落下防止対策を講じる。今年は、天井等を有する小学校 4 校（不知火小、松橋小、豊川小、小川小）と中学校 5 校（三角中、不知火中、松橋中、小川中、豊野中）合計 9 校の改修工事を施工した。</p>									
目標と 実績	平成 27 年度 達成目標			平成 27 年度 実績					
	<ul style="list-style-type: none"> ・改修工事 小中学校 9 校 ・設計及び監理業務委託 小中学校 9 校			<ul style="list-style-type: none"> ・改修工事 8 校（小学校：4 校、中学校：不知火中を除く 4 校）合計 8 校 ・設計及び監理業務委託 8 校 					
事務局 自己評価	評価	松橋中学校屋体アーナ及び不知火中学校については、補助金の採択時期の関係から、工事施工時期と学校側の施設利用計画との調整を図ることが困難となり、翌年度へ繰り越したほかは計画どおり完了。施設の安全性が向上した。							
	課題	改修工事期間（2箇月から 4 箇月）は、体育館や武道場が使用できないため、代替施設の確保や交通手段、授業や各種行事の振り替えなど調整が生じる。							
	今後の 対応	繰り越した不知火中学校及び松橋中学校の屋体アーナ非構造改修工事について速やかに工事を完了する。							
有識者 意見	必要な事業であり、計画的に進めて頂きたい。								
教育 委員会 総合評価	今後の方向性	拡充・維持・縮小・改善・完了							
	付帯意見	事業進捗に十分配慮しながら完成を目指して頂きたい。							

平成27年度 宇城市教育委員会点検及び評価報告書 教育総務課 施設係

事業名		学校大規模改修事業					
政策施策名 (総合計画)	5	ユニークな文化と心とひとづくり～役割を担い合う協働社会の形成～					
	01	学校教育					
	5	安心・安全な教育環境の整備と教職員の資質向上					
事業費	項目	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	合計
	予算額(千円)	50,862		347,600		18,381	416,843
	決算額(千円)	27,840		207,500		10,958	246,298
	執行率(%)						59.1
人件費(千円)							750
決算額+人件費							247,048

事業の目的

経年による学校建物の損耗や機能低下に対する復旧措置、トイレ整備等の大規模改造を行うことにより、教育環境の改善を図り、もって学校教育の円滑な実施に資するとともに、併せて建物の耐久性の確保を図る。

平成27年度 事業内容

対象施設は、建築から40年以上経過し老朽化が著しい豊福小学校及び当尾小学校の屋内運動場大規模改修工事、中学校施設では松橋中学校プール大規模改築工事、さらに小川中学校大規模改修工事基本設計業務委託を実施した。

目標と実績	平成27年度 達成目標		平成27年度 実績
	小学校屋内運動場大規模改修工事及び監理業務委託 2校 松橋中学校プール大規模改築工事 小川中学校大規模改修工事基本設計業務委託		豊福小学校屋内運動場大規模改修工事 947 m ² 当尾小学校屋内運動場大規模改修工事 800 m ² 小川中学校大規模改修工事基本設計業務委託
事務局自己評価	評価	松橋中学校プールについて、補助金の採択時期の関係から、今年度完成が困難となり、翌年度に繰り越したほかは計画どおり完了。両小学校屋内運動場の建物耐久性が向上し教育環境充実が図れた。	
	課題	大規模改修工事は工期が長期になるので、代替施設の確保や各種行事の振替が必要となる。また、大規模改修工事には膨大な費用が掛かるので、中長期的な施設の改修計画を策定する必要がある。	
	今後の対応	繰り越した松橋中学校プール大規模改築工事及び小川中学校大規模改修工事実施設計について、速やかに着手する。	
有識者意見	学校教育に支障のないように計画的に進めて頂きたい。		
教育委員会総合評価	今後の方向性	拡充・維持・縮小・改善・完了	
	付帯意見	中長期計画に沿って、学校施設大規模改修が計画されており、今後も財政課等と十分な協議を行いスムーズな事業推進をお願いしたい。	

平成27年度 宇城市教育委員会点検及び評価報告書 文化課 文化財係

事業名		公文書整理（アーカイブズ）業務							
政策施策名 (総合計画)		施策内容に当てはまらない事務事業							
事業費	項目	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			
	予算額(千円)					1,164			
	決算額(千円)					1,025			
	執行率(%)					88.0			
人件費(千円)						3,000			
決算額+人件費						4,025			
事業の目的									
「公文書館法」に基づき、廃棄予定文書の中から歴史的資料として重要な公文書等の評価・選別を行い、市民及び行政の利用に供することを目的とする。									
平成27年度 事業内容									
各課・支所等で廃棄される文書について、宇城市非現用文書評価選別基準で歴史資料の対象になる文書等を専用のダンボール箱に移し、不知火支所旧議場に搬入する。シルバー人材センターと委託契約し、評価・選別を不知火支所3階の旧議場及び旧文化課の部屋にて作業を行う。									
アーカイブズに該当しない文書は、職員がクリーンセンターへ持参して廃棄する。									
目標と実績	平成27年度 達成目標			平成27年度 実績					
	搬入ダンボール350箱			搬入ダンボール505箱					
事務局自己評価	評価	通常の評価選別作業と10年の節目にあたり初めて総務課文書法規係と共に香川県三豊市及び福岡市の公文書館への先進地視察研修を行い、宇城市的課題の確認と今後の方針の明確化及び事業計画書の作成を年度末まで行った。							
	課題	具体的方針が明確化されない中で、事業が進捗してきており課題が山積している。事業計画を提案し、市としての基本方針の確認が必要である。人材の確保、育成と長期的な予算計画の作成。							
	今後の対応	当面は有効な保存管理施設の確保と現保存文書の再評価を行い、著しく高い保存率を三分の一程度まで引下げることで保管場所の確保の長期化を図る。							
有識者意見	当面の課題である保存率の見直しに向けた再評価及び保存場所の確保に努め、改善を図ること。								
教育委員会総合評価	今後の方向性	拡充・維持・縮小・改善・完了							
	付帯意見	事業計画書の実現に向け、先延ばしにせず早めの取り組みをするべきである。シルバー委託での選別評価では負担が大きすぎると思われ人材、予算の追加投入を検討すべき。							

平成27年度 宇城市教育委員会点検及び評価報告書 文化課 文化財係

事業名		文化財調査保存及び指定業務					
政策施策名 (総合計画)	5	ユニークな文化と心とひとつづくり～役割を担い合う協働社会の形成～					
	04	文化・伝統					
	2	文化遺産の保存と活用					
事業費	項目	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	予算額(千円)	1,039				2,760	
	決算額(千円)	1,039				2,040	
	執行率(%)	100				73.9	
	人件費(千円)					7,125	
決算額+人件費		1,039				9,165	
事業の目的							
埋蔵文化財をはじめとする文化財全般の調査を実施することにより、文化財の保存・啓発・活用を目的とする。							
平成27年度 事業内容							
埋蔵文化財包蔵地の有無的回答と、包蔵地内で掘削を伴う開発行為がある際に埋蔵文化財発掘届出・通知の処理を行う。これをもとに、遺跡の性格等によって調査方法を検討し、現地での予備・確認調査を実施し、必要に応じて発掘調査を実施する。また、国県市指定文化財の保存管理・活用事業を実施する。個別事業として、国指定史跡「小田良古墳」の範囲確認調査及び県指定重要文化財「浄水寺古碑群」の国指定への取組みを実施する。							
目標と 実績	平成27年度 達成目標		平成27年度 実績				
	文化財保護法第93条、94条による届出60件。小田良古墳の範囲確認調査により、指定範囲の見直しを図る。前年度に答申を受けた浄水寺古碑群の国指定へ向けて、関係各所との協議及び啓発事業を実施。		届出65件中、試掘調査4件実施。うち1件については、発掘調査には至らないもののほぼ同規模の試掘調査を実施した。小田良古墳の範囲確認調査については、実施したものの範囲確定はできず、現状における保存措置をとることとした。浄水寺古碑群については、9月4日に国重要文化財に指定され、パンフレット刊行及び記念シンポジウムによる啓発事業を実施した。				
事務局 自己評価	評価	文化財調査保存業務のうち、その多くを占めるのは埋蔵文化財の発掘調査であり、これは個人住宅建築から開発行為に至るまで埋蔵文化財包蔵地において土木工事等を行う際には必要になる事業である。27年度は、届出件数も増加し適正に実施された。また、文化財の指定、その後の保存管理・活用については、個別事業ではあるが着実に実施している。					
	課題	発掘調査のみならず、調査後の整理・報告作業が行えるよう体制の強化を図らなければならない。また同時に、より円滑な事業の推進のために市民や業者に対し、埋蔵文化財包蔵地内における土木工事等の手続きについて周知を図らなければならない。市指定文化財については、大半が旧町の					

		指定文化財となっている。文化財としての位置づけを再調査するとともに、未指定の文化財についても調査を行う必要がある。
	今後の対応	市民、業者に対し埋蔵文化財包蔵地内における土木工事等の際の手続の周知徹底を図らなければならない。また、円滑な事業推進を行う上で予算確保のため、継続して国庫補助の申請を行う必要がある。そのため、自治体内において事業継続の必要性について理解を得る必要がある。市指定文化財については、宇城市指定文化財の指定要綱の作成が必要である。
有識者意見	浄水寺の国重要文化財指定で終結するのではなく、文化財を観光資源に活用した地域振興策を取組んでもらいたい。	
教育委員会総合評価	今後の方針性	拡充・維持・縮小・改善・完了
	付帯意見	三角西港と併せて、文化財保護を中心に市組織全体で関係団体と共に地域振興策の検討を要請する。

平成27年度 宇城市教育委員会点検及び評価報告書 文化課 文化振興係

事業名		美術館施設収蔵庫管理業務							
政策施策名 (総合計画)		施策内容にあてはまらない事務事業							
事業費	項目	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			
	予算額(千円)					908			
	決算額(千円)					853			
	執行率(%)					93.9			
人件費(千円)						5,724			
決算額+人件費						6,577			
事業の目的									
宇城市不知火美術館は地方の美術館として評価が高い。市民の美術に関する活動、知識、教養の向上に資するため、美術館収蔵品の維持管理及び施設の維持管理。									
平成27年度 事業内容									
美術館の収蔵品は常に温湿度や照明などの影響に配慮した環境で保存・展示に努めている。今回、収蔵庫内の燻蒸、空調及び除湿機の排水修繕、また展示室の空調設備の修繕を行った。									
収蔵品は展示機会を増やすように年に数回の入れ替えをし、常設コーナーにて展示を行い、収蔵品展では作品や作家の偏りがないように展示している。									
目標と実績	平成27年度 達成目標			平成27年度 実績					
	①毎日の収蔵庫内の保存管理。 ②収蔵作品の修復を行う。 ③収蔵庫内の燻蒸を行う。 ④収蔵品コーナーの展示品の入れ替え (6回)を行う。			収蔵庫内の温湿度計測を行い、変化が見られた際には対処し保管環境を整え維持管理に努めた。展示室の空調修繕を行った②収蔵庫内の空調及び除湿機の排水修繕を行った。③虫害対策として収蔵庫内の燻蒸を行った。④常設コーナーの展示4回を行った。					
事務局自己評価	評価	常設コーナーの展示替えが少なかったが、収蔵品展では出品回数の少ない作家や作品を中心いて展示し、状態確認をした。							
	課題	計画的に収蔵品展ができるように収蔵品の適正な保存・管理に努める。							
	今後の対応	絵画作品維持管理の長期計画を立て、美術品価値の衰退をおさえる。							
有識者意見	収蔵品の適正な管理は当然ながら、宇市の貴重な財産であるので多くの市民等に接する機会が出来るような展示に努力願いたい。								
教育委員会総合評価	今後の方向性	拡充・維持・縮小・改善・完了							
	付帯意見	災害復旧が優先だが、企画展の内容充実の為、学芸員の資質向上は元より、館長の教育長兼務は避けるべきで不在が運営に支障がないよう改善すること。							

平成27年度 宇城市教育委員会点検及び評価報告書 文化課 文化財係

事業名		資料館管理業務							
政策施策名 (総合計画)	5	ユニークな文化と心とひとつづくり～役割を担い合う協働社会の形成～							
	04	文化・伝統							
	2	文化遺産の保存と活用							
事業費	項目	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			
	予算額(千円)			8,800		5,782			
	決算額(千円)			8,800		5,167			
	執行率(%)			100		89.3			
人件費(千円)					2,625	2,625			
決算額+人件費				8,800		7,792			
事業の目的									
宇城市に遺されている古文書、民具等の貴重な文化財を現在の良好な状態を保ったまま後世に伝え、多くの市民に鑑賞、体験していただくことを目的として、それを保管する資料館の適切な運用、来館者が何度も訪問したくなるような環境作りを実施する。									
平成27年度 事業内容									
松橋資料館の解体工事のため、本年度経費が高くなっている。また、館内の展示内容に変わりがなく、利用者減少の一因と考えられる。なお、今年度に松橋・第2資料館を解体し、28年度は豊野資料館を休館とするため、例年より来館者は減少する。郷土資料館は、学校教育の一環として市内外の小中学校の来館があり、老若男女問わず気軽に郷土の歴史を学ぶ場として設置されており、収益を目的とした施設ではないため行政が関与する必要があると考える。									
事務局 自己評価	平成27年度 達成目標			平成27年度 実績					
	松橋郷土資料館の解体			松橋郷土資料館の収蔵物の移動及び解体を完了した。					
	評価	教育施設のあり方については年次計画とおりに第一段階である松橋資料館の解体は完了した。							
	課題	資料館の機能集約に向けた施設充実が求められるが、他の教育施設と比較すると重要度の順位が低く扱われている。							
有識者 意見	今後の対応	小川資料館も29年度に解体予定で豊野資料館を改修し、宇城市資料館としてリニューアル開館の予定である。資料館の収蔵資料のみに限らず、民具等が宇城市館内に散在している。管理するには一か所に集めておくほうが効率がよく、展示内容を入れ替えるに際しても同様である。資料の収蔵庫が必要と考える。							
	今後の方向性	(拡充)・維持・縮小・改善・完了							
教育 委員会 総合評価	付帯意見	現豊野資料館の規模では容量不足は否めないので拡張と収蔵品の企画展示が計画的にできるよう保管庫も併せて検討すること。							

平成27年度 宇城市教育委員会点検及び評価報告書 世界遺産推進室世界遺産推進係

事業名		世界遺産推進の啓発に関する事業							
政策施策名 (総合計画)	5	ユニークな文化と心とひとつづくり～役割を担い合う協働社会の形成～							
	04	文化・伝統							
	2	文化遺産の保存と活用							
事業費	項目	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			
	予算額(千円)		1,659			1,704			
	決算額(千円)		1,659			1,277			
	執行率(%)		100			74.9			
	人件費(千円)					1,125			
決算額+人件費			1,659			2,402			
事業の目的									
「明治日本の産業革命遺産」の世界遺産登録を目指すとともに、宇城管内及び三角西港地区において機運醸成を図る取り組みを行う。									
平成27年度 事業内容									
これまで協力いただいた三角西港地区において、世界遺産委員会生中継や、世界遺産登録の際に記念式典を開催する。									
また、世界遺産ののぼり旗等を作成し、宇城管内へ掲示を行い、海外の来訪者に対しては、多言語（英・中・韓）パンフレットを作成する。									
目標と実績	平成27年度 達成目標			平成27年度 実績					
	登録の可否に係らず、のぼり旗・パンフの作成及びイベントの準備を行う。			世界遺産登録となり、生中継及び記念式典を開催することができた。また、のぼり旗・パンフも作成・配布を行った。					
事務局自己評価	評価	世界遺産登録となり、生中継・記念式典を開催し、どちらも盛会に終わることができた。またのぼり旗の掲示も宇城管内で実施できている。							
	課題	世界遺産登録の機運を維持することは難しいため、単発的なイベントではなく、継続的な取り組みを行う必要がある。							
	今後の対応	庁舎内関係部局で構成される、世界遺産交流促進本部を主体として、保存・管理を基礎としつつ、三角西港地区や宇城市への観光振興に対する取り組み図る必要がある。							
有識者意見	登録が終結ではなく、世界遺産三角西港を拠点とした地域振興策を研究しながら、宇城市民の財産としての価値を高めてもらいたい。								
教育委員会総合評価	今後の方向性	拡充・維持・縮小・改善・完了							
	付帯意見	案内説明方法の充実を図り、リピーターに繋がるような滞在時間の長期化及び体験等が出来るような企画の研究、外部発信は出来ないか検討願う。また活用方法の検討は各方面の意見集約ができるような体制で行うこと。							

平成27年度 宇城市教育委員会点検及び評価報告書 スポーツ振興課 スポーツ振興係

事業名		宇城市体育協会補助金									
政策施策名 (総合計画)	2	白寿へいざなうセルフケアの確立 ~QOL向上を目指す健康社会の形成~									
	05	スポーツ・レクリエーション									
	3	スポーツ指導者の育成と組織強化									
事業費	項目	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	合計				
	予算額(千円)		113		42	15,845	16,000				
	決算額(千円)		113		36	15,540	15,689				
	執行率(%)					98.1	98.1				
人件費(千円)						375	375				
決算額+人件費			113		36	15,915	16,064				
事業の目的											
宇城市内におけるスポーツ振興を図り、市民の体力向上とスポーツの技術向上に努め、健康増進並びに健全な心を養い、地域住民の親睦と融和を図ることを目的とする宇城市体育協会に対して、運営及び事業費として補助金を交付する。											
平成27年度 事業内容											
体育協会の主な事業としては、県民体育祭への派遣事業、熊日（男子・女子）駅伝大会事業、宇城市ロードレース大会事業、体育振興事業、ジュニア育成事業、種目協会活動事業及び市民の体力向上・親睦を図るために地区体育祭事業等の実施。											
目標と 実績	平成27年度 達成目標			平成27年度 実績							
	補助基準を明確にするため、補助金交付要綱を本部と支部補助金に分けて作成し、本庁から直接支払い、補助金の充実した活用を図る。			支部補助金については、人口割を基準とし60万円削減し、更に、本部補助・支部補助共に残額の繰越金を返却することとし、補助金の充実を図った。 また、活動の実績として、熊日駅伝では男子2位、女子3位と健闘。							
事務局 自己評価	評価	事業内容を明確にするため、補助金交付要綱を本部と支部に分けて制定し、補助金の見直しを行った。									
	課題	事業内容等の精査を行い、補助金交付要綱を整理し、補助基準の明確化を図ること。									
	今後の 対応	補助金の効果が表れるように、他の自治体の状況の把握及び要綱等を見直し補助金の有効活用を図る。									
有識者 意見	本部と支部補助金を分けられたので、補助金の内容がわかりやすくなったと思う。これからも補助金の有効活用に取り組むように。										
教育 委員会 総合評価	今後の方向性	拡充・維持・縮小・改善・完了									
	付帯意見	他の自治体の体育協会の補助金等の調査を行い、今後の補助金のあり方を更に検討すること。									

平成27年度 宇城市教育委員会点検及び評価報告書 スポーツ振興課 スポーツ振興係

事業名		各種スポーツ大会・教室開催に関する業務									
政策施策名 (総合計画)	2	白寿へいざなうセルフケアの確立～QOL向上を目指す健康社会の形成～									
	05	スポーツ・レクリエーション									
	1	生涯スポーツ・レクリエーションの推進									
事業費	項目	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	合計				
	予算額(千円)					3,962	3,962				
	決算額(千円)				499	3,234	3,733				
	執行率(%)					81.6%	94.2%				
人件費(千円)						15,030	15,030				
決算額+人件費					499	18,264	18,763				
事業の目的											
市民のスポーツに対する意識の高揚を図るために、スポーツ関係団体と連携して各種大会・教室を開催して、市民にスポーツに接する機会の提供を目的とする。併せて、「健康づくり」、「いきがいづくり」、「地域のコミュニティ形成」等を支援する。											
平成27年度 事業内容											
体育協会及びスポーツ推進委員協議会等と連携して、別紙のとおり各種大会・教室等を実施。											
目標と 実績	平成27年度 達成目標			平成27年度 実績							
	市民のニーズに合った新たなスポーツ大会や教室の開催に向けて、アンケート調査等を実施し、スポーツの振興を図る。			各種大会の参加者の実績及びアンケート調査を基に大会種目を整理検討し、実績は別紙のとおり取り組んだ。							
事務局 自己評価	評価	毎年開催している各種大会・教室を一部調整し実施したが、新たな事業の取組には至らなかった。									
	課題	現在各地域で旧町時代からのイベントが引き継がれ、多くの事業に取り組んでいるが、新たな市民のニーズに合った教室・大会を行うためには、行政で行なう事業とスポーツ関係団体で行なう事業の洗出等精査することが課題である。									
	今後の対応	旧町ごとのイベント取組みも重要であるが、合併後10年が経過し、三角西港が世界遺産に登録したので、宇城市独自の子どもから老人まで参加し楽しめる大会に取り組み、九州管内からの参加者も目指す。									
有識者 意見	世界遺産の「三角西港」の活用と、競技の中に面白みを取り入れ、九州管内から多くの参加者があるような競技に取り組んでもらいたい。										
教育 委員会 総合評価	今後の方向性	拡充・維持・縮小・改善・完了									
	付帯意見	地域が元気になるように、文化などを生かし、関係機関と連携して、競技に取り組むこと。									

別紙

平成27年度 スポーツ振興課年間イベント等日程表

月	開催日又は予定日	イベント等名	参集対象者	参加者実績	委託及び協力団体等の名称	担当係
4	4月15日～3月23日	B & G 親子体操教室	市内幼児～小学生	延1193	トヨダ体操教室	三角スポーツ振興係
	4月26日（日）	豊野町婦人会ミニバレー	豊野町婦人会	105	豊野町婦人会・市スポーツ推進委員協議会豊野支部	豊野スポーツ振興係
5	5月16日（土）	宇城市少年野球教室	市内小学生クラブ	66	宇城市主催	スポーツ振興係
	5月31日（日）	松合校区運動会	松合校区区民	588	運動会実行委員会	不知火スポーツ振興係
	5月30日（土） ・31日（日）	宇城市三角B & G会長杯ミニバスケットボール大会	市内小学生	177	宇城市体育協会三角支部	三角スポーツ振興係
6	6月13日～8月22日	カヌー教室	市内小学校3～6年生	延93	海洋クラブ	三角スポーツ振興係
7	7月12日（日）	宇城市三角B & G会長杯少年柔道大会	県内小学生	221	市柔道協会	三角スポーツ振興係
	7月19日（土） ・20日（日）	みなと祭り協賛体育行事（剣道・卓球・弓道・バド）	県内小中高生・一般	325	各種目協会	三角スポーツ振興係
	7月20日～8月26日	B & G水泳教室	市内小学生	延605	宇城市水泳協会	三角スポーツ振興係
8	8月4日（火）	熊本県B & Gスポーツ大会（津奈木町）	県内小中学生	243	熊本県B & G連絡協議会主催	三角スポーツ振興係
	8月23日（日）	ちびっこトライアスロン大会	小学生	137	市スポーツ推進委員協議会	スポーツ振興係
	9月6日（日）	小川町行政区対抗ソフトボール大会	小川市民	113	市教育委員会・小川公民館	小川スポーツ振興係
	9月6日（日）	市民体育祭（郡浦・大岳）	郡浦・大岳地区区民	延1,184	郡浦・大岳地区体育会	三角スポーツ振興係
	9月27日（日）	市民体育祭（河江校区）	校区民	1,000	小川支部体育協会	小川スポーツ振興係
10	10月～11月	陸上教室	市内小学生	157	熊本大学陸上部	スポーツ振興係
	10月4日（日）	市民体育祭（戸馳）	戸馳地区区民	延1,050	三角地区体育会	三角スポーツ振興係
	10月4日（日）	市民体育祭（小川/小野部田地区）	校区民	600/500	小川支部体育協会	小川スポーツ振興係
	10月10日（土）	宇城小川町コスマスジョギング大会	宇城市他	220	小川町陸上競技協会	小川スポーツ振興係
	10月11日（日）	市民体育祭（三角）	三角地区区民	181	三角地区体育会	三角スポーツ振興係
	10月11日（日）	豊野町体育祭	豊野市民	2,000	豊野支部体育協会	豊野スポーツ振興係
	10月11日（日）	不知火校区体育祭	不知火校区区民	1,421	体育祭実行委員会	不知火スポーツ振興係
	10月11日（日）	市民体育祭（松橋町4校区）	校区民	延7,890	松橋町各校区体育会	松橋スポーツ振興係

平成27年度 スポーツ振興課年間イベント等日程表

月	開催日又は予定日	イベント等名	参集対象者	参加者実績	委託及び協力団体等の名称	担当係
11	10月12日（月）	市民体育祭（海東校区）	校区民	400	小川支部体育協会	小川スポーツ振興係
	11月3日（火）	市スポーツフェア	宇城市民	142	市スポーツ推進委員協議会	スポーツ振興係
	11月8日（日）	小川地区中学女子ソフトボール大会	県内中学女子	110	小川中ソフトボール部後援会	小川スポーツ振興係
	11月15日（日）	不知火みかん狩りウオーキング大会	熊本県下	207	不知火支部体育協会	不知火スポーツ振興係
	11月22日（日）	上村春樹旗小川柔道大会	県内小中学生及び招待中学	419	上村春樹旗柔道大会実行委員会	スポーツ振興係
	11月29日（日）	市武道祭（剣道大会）	小中学生	565	武道大会実行委員会	スポーツ振興係
1	1月17日（日）	三角ランラン駅伝	宇城市民	169	体協・市スポーツ推進委員協議会三角支部	三角スポーツ振興係
	2月11日（木）	市健康フェア（ニュースポーツ紹介）	宇城市民	87	市スポーツ推進委員協議会	スポーツ振興係
	2月14日（日）	市武道祭（弓道大会）	小中学生	84	武道大会実行委員会	スポーツ振興係
	2月14日（日）	市武道祭（柔道大会）	小中学の部	133	武道大会実行委員会	スポーツ振興係
	2月21日（日）	宇城市少年サッカー三角大会	市内小学生	364	市サッカー協会（三角支部）	三角スポーツ振興係
	2月28日（日）	町内健康づくり駅伝大会	宇城市民	160	市・教育委員会・小川公民館	小川スポーツ振興係
3	2月～3月	小学生バレーボール教室	管内小学生4年～6年	48	宇城市バレーボール協会松橋支部	松橋スポーツ振興係
	3月12日（土）	ふれあいスポーツフェスティバル	市内小学生	191	市スポーツ推進委員協議会	スポーツ振興係
	3月20日（日）	不知火デコポン駅伝大会	熊本県下	157	不知火支部体育協会	不知火スポーツ振興係
	3月27日（日）	豊野町さくらマラソン大会	小・中学生・一般	399	豊野支部体育協会	豊野スポーツ振興係

平成27年度 宇城市教育委員会点検及び評価報告書

学校給食課

事業名		学校給食提供事業																
政策施策名 (総合計画)		施策内容に当てはまらない事務事業																
事業費	項目	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源												
	予算額(千円)				7,258	30,088												
	決算額(千円)				7,258	28,194												
	執行率(%)				100	93.7												
人件費(千円)					0	114,799												
決算額+人件費					7,258	142,993												
		事業の目的																
学校教育活動の一環として行われている学校給食の円滑な実施及びその充実に努めることにより、学校における食育の推進を支援し、広く児童生徒の心身の健全な発達に寄与することを目的とする。																		
平成27年度 事業内容																		
【給食提供数】・三角小学校（222食）・青海小学校（104食）・小野部田小学校（106食）・河江小学校（408食）・小川小学校（160食）・海東小学校（103食）・三角中学校（182食）・小川中学校（426食）・不知火センター（699食）・松橋センター（2,752食）・豊野センター（358食） 合計 5,520食																		
目標と実績	平成27年度 達成目標			平成27年度 実績														
	学校給食の充実及び食育の推進 地産地消の促進		栄養教諭等による各学校への訪問食育推進授業 地産地消利用率 51%															
事務局自己評価	学校給食の衛生管理の徹底 安心・安全な給食の提供		食物アレルギー対応食提供数 70名															
	評価	調理員における衛生研修を年3回行い、衛生面の徹底を図ることができ、食中毒の事故もなく給食を提供することができた。また、各施設において毎月の献立にふるさとくまさんデーを取り入れる等、地産地消促進にも努めた。																
	課題	児童・生徒数の減少や施設等の老朽化に伴い修繕や機械器具の入れ替えなど、年々増加の傾向にあり維持費が増えているため、給食施設の再編を検討する。																
有識者意見	今後の対応																	
	施設や機械器具の老朽化による更新時期など状況を精査したうえ、給食施設の統廃合実施を行う。松橋Cは平成28年度より調理配達業務が民間委託となったが、非常勤調理職員任用については、更新回数が決まっている雇用体制のため施設によっては退職年度が重なり、また新規採用しても退職するなど業務に支障が生じている。他の施設でも民間委託を検討する必要性がある。																	
教育委員会総合評価	安心安全な給食の提供が最も重要であるので、異物混入については、再発防止策の徹底及びすべての調理場で情報の共有を行い万全な対策を取って頂きたい。		拡充・維持・縮小・改善・完了															
	付帯意見		松橋給食センターについては、平成28年度より民間委託になったが、委託業者と連携を図り安心安全な給食の提供に努めて頂きたい。また、単独校においても情報の共有を行い万全な対策を取って頂きたい。															

平成27年度 宇城市教育委員会点検及び評価報告書

学校給食課

事業名		学校給食施設維持管理事業							
政策施策名 (総合計画)		施策内容に当てはまらない事務事業							
事業費	項目	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			
	予算額(千円)					13,684			
	決算額(千円)					13,520			
	執行率(%)					98.8			
人件費(千円)						52,100			
決算額+人件費						65,620			
事業の目的									
児童・生徒に安心・安全な給食を提供するために、衛生的な環境及び施設整備を図り、学校給食衛生管理基準を遵守した施設環境に努めることを目的とする。									
平成27年度 事業内容									
【修繕】・三角小学校4件(64,206円)・青海小学校4件(221,724円)・河江小学校2件(28,836円)・小川小学校7件(126,036円)・海東小学校1件(9,547円)・三角中学校1件(3,564円)・小川中学校9件(440,489円)・給食センター(4,630,916円)【備品購入】・小川小学校2件(147,960円)・海東小学校1件(18,360円)・小川中学校4件(391,240円)・給食センター(牛乳保冷庫461,160円)【工事】・給食センター(蒸気ボイラ設置工事 4,131,000円)									
目標と実績	平成27年度 達成目標			平成27年度 実績					
	突発的や計画的な施設設備の修繕及び機械器具購入			緊急を要する修繕や計画的な修繕及び機械器具の購入 【修繕】 5,525,318円 【備品購入】 1,018,720円 【工事】 4,131,000円					
事務局自己評価	評価	施設の老朽化に伴い、当初の計画よりも突発的な修繕や機械器具の故障による修理不能が生じ(年数・年式が古いため交換部品がない等)備品購入費が増加している。							
	課題	施設や機械器具の老朽化に伴い、修繕箇所は突発的なものが年々増えている。また、年数が経過している機械器具は、部品の交換が出来なく、新しく買換えの必要性も高くなっているのが現状である。							
	今後の対応	現施設の状況と児童生徒の推移を見据えた施設のあり方を検討し、新給食センター建設後においても、給食施設の統廃合(センター方式・親子方式等)や民間委託を検討する必要性がある。また、各施設間で譲渡可能な器具類は有効活用し経費削減に努める。							
有識者意見	現状では、施設の老朽化による維持管理費については、突発的なことであり、必要経費と考える。統廃合を最優先的に考え、親子方式等を踏まえ計画的に進めて頂きたい。								
教育委員会総合評価	今後の方向性	拡充・維持・縮小・改善・完了							
	付帯意見	各調理場の老朽化に伴う、維持管理費は必要経費であり、安心安全な給食を提供できるよう対応すると共に、3センターの統廃合を計画的に進め、単独調理場においても充分検討して頂きたい。							

事業名		学校給食施設建設事業								
政策施策名 (総合計画)		施策内容に当てはまらない事務事業								
事業費	項目	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	合計			
	予算額(千円)					4,775	4,775			
	決算額(千円)					4,775	4,775			
	執行率(%)					100	100			
	人件費(千円)					2,726	2,726			
	決算額+人件費					7,501	7,501			
事業の目的										
児童・生徒に安心・安全な給食を安定的かつ継続的に提供が行え、衛生管理基準を遵守した環境及び施設整備及び今後の施設のライフサイクルコスト縮減を図るため、新学校給食センターを計画的に整備するための基本構想・基本計画を策定する。										
平成27年度 事業内容										
安心安全な学校給食の提供、おいしく学べる学校給食の提供、環境負荷低減の配慮、災害時にも対応できる学校給食、効率的な学校給食の運営を図ることを目的とし施設概要を計画する。										
目標と 実績	平成27年度 達成目標				平成27年度 実績					
	基本構想・基本計画策定業務完了。				【基本構想・基本計画策定業務委託料】 4,774,680 円					
事務局 自己評価	評価	建設予定地の選定については、給食センターの利便性を高めるうえで、将来施設の統廃合を見据えた宇城市内の中心部に選定することが出来た。								
	課題	自校式調理場のセンター化へ統合することも検討する必要があり、保護者等への説明が不可欠である。								
	今後の 対応	小川中学校・小川小学校の調理場は、新学校給食センター建設前に耐用年数を迎えるため早急な対応が求められる。								
有識者 意見	小川小中学校については、平成28年度に耐震調査を計画されているが、結果が分かり次第早急な対応をお願いしたい。また、三角については、距離の問題や一本道であり災害時の対応等問題はあるが、先はセンターとして統一する方向性をもって対応にあたって頂きたい。									
教育委員会 総合評価	今後の方向性	拡充・維持・縮小・改善・完了								
	付帯意見	3センター統廃合については、計画的に進めて頂きたい。単独調理場については、児童生徒の推移を見据えた施設のあり方を総合的に検証した上で、安心安全な給食の提供できる施設の整備にあたって頂きたい。								

平成27年度 宇城市教育委員会点検及び評価報告書 生涯学習課 生涯学習係

事業名		放課後子ども教室事業							
政策施策名 (総合計画)	5	ユニークな文化と心とひとつづくり～役割を担い合う協働社会の形成～							
	03	生涯学習							
	1	生涯学習の充実							
事業費	項目	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			
	予算額(千円)		985			1,132			
	決算額(千円)		876			588			
	執行率(%)		88.9			51.9			
	人件費(千円)					1,500			
	決算額+人件費		876			2,088			
事業の目的									
放課後や長期休暇等（夏休み、冬休み等）に学校の余裕教室等を活用して、子どもたちの安全・安心な活動拠点（居場所）を設け、地域住民等の参画を得て、子どもたちに学習や様々な体験・交流活動の機会を定期的・継続的に提供することにより、子どもたちの社会性・自主性・創造性等の豊かな人間性を涵養するとともに、地域社会全体の教育力の向上を図り、地域の活性化や子どもたちが安心して暮らせる環境づくりを推進する。									
平成27年度 事業内容									
松合小学校、小野部田小学校、小川小学校の3校で実施。									
(内容)									
<ul style="list-style-type: none"> ・松合小（児童29人・協力者20人・月～金）、習字、パソコン、そろばん、読み聞かせ、昔遊び等 ・小野部田小（児童19人・協力者19人・月・水）、教科学習、グランピング、茶道体験等 ・小川小（児童33人・協力者5人・火・木）、ぐんぐん算数教室（プリント学習等） 									
目標と実績	平成27年度 達成目標			平成27年度 実績					
	参加児童数、協力者数の増加			参加児童数は前年100人から81人に、協力者は57人から44人に減少した。					
事務局自己評価	評価	地域住民と児童との交流が双方に好影響を及ぼしており、子どもたちの能力向上はもとより、地域住民の生きがいづくりにも役立っている。							
	課題	参加児童数、協力者数共に減少しているため、教室が画一的で単調なものではなく、児童、保護者からも魅力的なものであるような配慮と、協力者の発掘、育成が必要である。							
	今後の対応	教室が画一的で単調なものにならないよう、新たなプログラムの実施や協力者の確保に努め、内容の充実を図る。また、ボランティアの研修会を開催し、ボランティア1人ひとりの資質向上に努める。							
有識者意見	参加児童数、協力者数共に減少している。現在実施している放課後こども教室を拡充する方向で、協力者の確保を図る。地域の高齢者で知識・技術(伝承)を活かせる人材を発掘し、ボランティアの資質向上に努めて頂きたい。								
教育委員会総合評価	今後の方向性	拡充・維持・縮小・改善・完了							
	付帯意見	公民館講座で受講生が地域で活躍できるように生涯学習ボランティア講座で人材育成に努めて頂き、今後、放課後こども教室の拡充に向けて進めて頂きたい。							

平成27年度 宇城市教育委員会点検及び評価報告書 生涯学習課 生涯学習係

事業名		学校・家庭・地域連携推進事業				
政策施策名 (総合計画)	5	ユニークな文化と心とひとつづくり～役割を担い合う協働社会の形成～				
	03	生涯学習				
	1	生涯学習の充実				
事業費	項目	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	予算額(千円)		686			883
	決算額(千円)		688			780
	執行率(%)		100.3			88.3
人件費(千円)					1,500	1,500
決算額+人件費			688			2,280
事業の目的						

学校・家庭・地域が連携協力し、地域住民の参画による地域の実情に応じた取組を有機的に組み合わせて、授業等における学習補助や教員の業務補助など、学校の要望に応じた学校支援活動等について、教育支援活動を行う体制づくりを推進する。

平成27年度 事業内容

学校と学校支援ボランティアとの連絡調整を行うコーディネーターを2人配置し、学校支援ボランティアは主に学習支援や登下校時の見守り活動等に取り組んでいる。

学習支援回数 137回、学習支援ボランティア実人数 205人、延べ 628人

丸付けボランティアは不知火小・三角小、登下校見守り（毎日）は不知火小・三角小、豊野小
不知火中ではダンス指導、豊野中では田植え体験等を行っている。

実施校：三角小、不知火小、不知火中、豊野小、豊野中（5校）

目標と 実績	平成27年度 達成目標		平成27年度 実績
	学習支援ボランティア数の増加と支 援回数の増加		ボランティア数が延べ 712 人から 628 人、 支援回数も、149 回から 137 回と減少した。
事務局 自己評価	評価	コーディネーター2名を配置している。役割分担をしながら進めることができている。また、学校の協力もあり、活動内容は年々充実してきている。	
	課題	ボランティア数と支援回数の減少は、台風災害や寒波等の自然災害による実施回数の減少が影響していると考えられる。 事業内容としては、希望校に応じて対象範囲を広げていくために、新たなコーディネーター、ボランティア等、協力者の確保を検討する。	
	今後の 対応	希望校に応じて対象範囲を広げていくために、各種社会教育活動の情報を把握し、新たなコーディネーターの確保を検討する。また、併せて事業の周知と協力を図る。	
有識者 意見	学校の要望に応じた学校支援活動事業であるので、学校に対し必要な情報を発信することにより、実施校の拡大をお願いしたい。		
教育 委員会 総合評価	今後の方向性	拡充・維持・縮小・改善・完了	
	付帯意見	現在2人の地域教育コーディネーターが6校の支援活動を行っている状況である。事業拡大に向けて、コーディネーターを発掘し、資質向上を図りながら、拡充に向けて、希望される学校と協議しながら進めて頂きたい。	

平成27年度 宇城市教育委員会点検及び評価報告書 生涯学習課 生涯学習係

事業名	宇城っ子のつどい										
政策施策名 (総合計画)	5	ユニークな文化と心とひとつづくり～役割を担い合う協働社会の形成～									
	02	社会教育									
	1	青少年育成施策の推進									
事業費	項目	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	合計				
	予算額(千円)				300	722	1,022				
	決算額(千円)				225	633	858				
	執行率(%)				75.0	87.73	84.0				
	人件費(千円)					2,625	2,625				
	決算額+人件費				225	3,258	3,483				
事業の目的											
小学校5・6年生を対象に、自然の中での体験活動や集団生活を通し、生きる力を育むとともに、将来を担うリーダーを育成する。											
平成27年度 事業内容											
小学校5・6年生を対象に、8月17日(月)～19日(水)(2泊3日)にかけ、国立諫早青少年自然の家で、沢登り等の野外活動や野外炊飯を実施。											
(参加者) 小学校児童 45名 ・ 中学生ボランティアリーダー 4名 高校生ボランティアリーダー 15名(宇土高校・松橋高校・小川工業高校)											
目標と 実績	平成27年度 達成目標			平成27年度 実績							
	参加児童数の増加、参加ボランティア数の増加			参加児童数は、前年48人から本年46人に減少した。参加ボランティアリーダーも21名から19名に減少した。							
事務局 自己評価	評価	活動を通じて、協力する心、相手を思いやる気持ちなどの醸成とともに、集団生活において規律を守ることの重要性が認識されたと思われる。									
	課題	参加児童数及びボランティアリーダーともに減少している。体験プログラムが単調でない、参加意欲を高める有意義で充実したプログラムとなるよう配慮が必要と考えられる。									
	今後の対応	研修施設により体験プログラムが異なるため、さらに充実した事業となるよう、施設そのものの選定を含めプログラム内容を検討する。また、事前に中学生、高校生を招集し、リーダー研修を行うなど、リーダー育成も併せて充実を図る。									
有識者 意見	小学校5・6年生で参加した児童が、中学生・高校生ボランティアリーダーとして参加していることは、大変有意義であり事業の在り方としては評価できる。さらに参加意欲を高めるための研修内容を検討して頂きたい。										
教育 委員会 総合評価	今後の方向性	拡充・維持・縮小・改善・完了									
	付帯意見	今後も研修施設、プログラム内容等について検討し、充実した有意義な研修を実施し、将来の宇城市を担う人材の育成を図って頂きたい。									

平成27年度 宇城市教育委員会点検及び評価報告書 生涯学習課 人権教育係

事業名		人権教育啓発イベント（人権フェスタ）運営業務				
政策施策名 (総合計画)	5	ユニークな文化と心とひとつづくり～役割を担い合う協働社会の形成～				
	02	社会教育				
	2	人権教育の普及・啓発の推進				
事業費	項目	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	予算額(千円)		921			524
	決算額(千円)		921			345
	執行率(%)		100			65.8
	人件費(千円)					5,355
決算額+人件費		921			5,700	6,622
事業の目的						
人権文化の創造に向けて、あらゆる人権問題の解決のため、行政・学校・家庭及び地域が一体となり、差別意識の解消、そして一人ひとりの基本的人権を尊重する学びの場及び啓発の場とする。そして、豊かな人権感覚を身につけることで、宇城市に生まれてきて良かったと思えるような地域社会を築きあげることを目的とする。						
平成27年度 事業内容						
市内5か所（旧町）で開催。各会場とも講演会と併せて保育園、小・中・高等学校及び支援学校と連携をとったステージ発表や人権ポスター・標語などの展示を行った。また、県の人権啓発マスコット「コッコロ隊」にも出場してもらったり、人権子どもコーナーでは、人権擁護委員による子どもたちに向けた啓発が行われた。さらに今年度も家庭で人権について話すきっかけになればと考え、参加賞の花の苗に人権標語の短冊を挿して配付した。						
目標と実績	平成27年度 達成目標	平成27年度 実績				
	例年通り5会場開催し、どの会場も参加者増を目指す。	11月21日(土) ラポート 講演 江嶋 修作さん 白百合保・海東小・小川小 <u>363人</u> 11月28日(土) 豊野公民館 講演 月足 さおりさん 豊野保・豊野小・豊野中 <u>393人</u> 12月5日(土) 不知火公民館 講演 月足 さおりさん 白梅幼・不知火小・松合小・不知火中 <u>470人</u> 12月12日(土) ウイングまつばせ 講演 大湾 昇さん まつにし太鼓・松橋保・4小・松橋中・コスモス保 <u>511人</u> 12月19日(土) 三角公民館 講演 人権エンタメ集団友輝 阿部千明・森裕生さん みすみ保・青海小・三角小・三角中 <u>449人</u>				
事務局自己評価	評価	市民の参加を促すため、昨年度より事前会議に嘱託員さんや老人会の方にも参加してもらったことで、多数の意見が聞け、事業の改善となった。また、アンケートの結果でフェスタに参加して満足と答えられた人が83%いて、ある程度の成果はあるのだと考える。				

	課題	保護者が子供の出場後に途中退席されることは、毎年の課題であるが、人権擁護委員による「人権子どもコーナー」に留まつてもらうことで、啓発にはつながっていると考える。今後は、そこから講演会場へ誘導できる体制の検討が課題である。
	今後の対応	今後も開催日、プログラム、講師、開催時間等について、関係機関や各種団体等と連携しながら検討する。今までどおり各種団体等に参加の呼びかけを行うとともに、教職員、PTA、市職員への呼びかけも行う。また、保護者の途中退席については、次年度も保育園、学校及びPTAを通じて全プログラムへの参加を保護者へお願いするとともに、プログラム順の検討を行う。また、啓発の枠をひろげるために公立保育園に限っていた発表を今年度は、私立保育・幼稚園からも参加してもらった。今後は、全ての保育・幼稚園に輪番制での出場を検討する必要がある。それと同時に一般の参加者の可能性も考える必要がある。
有識者意見		人権フェスタは、人権教育啓発として必要なものである。保護者の途中退席が無いようにプログラムを検討して頂きたい。
教育委員会総合評価	今後の方向性 付帯意見	拡充・維持・縮小・改善・完了 宇城市的を目指す「差別のない人権のまち」づくりに向けて、今後も5会場で実施すると共に、参加人数が増えるよう工夫をお願いしたい。

平成27年度 宇城市教育委員会点検及び評価報告書 生涯学習課 人権教育係

事業名		人権教育学習会（ふれ愛学習会）運営業務				
(総合計画) 政策施策名	5	ユニークな文化と心とひとづくり～役割を担い合う協働社会の形成～				
	02	社会教育				
	2	人権教育の普及・啓発の推進				
事業費	項目	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	予算額(千円)				18	570
	決算額(千円)				17	409
	執行率(%)				94.4	71.7
人件費(千円)						5,433
決算額+人件費					17	5,842
		事業の目的				

子どもたちが部落問題をはじめ、様々な人権問題について学び、学習を通して正しい知識をそなえ、豊かな人権感覚を身につけることを目的に学習会を実施。

平成27年度 事業内容

ふれ愛学習会には、2つの学習会がある。「差別をなくす行動ができる子どもの育成となまづくりを目的としたおもやい学習会」は、教育委員会で計画立案し、様々な人権学習を実施。もう一つの「差別に立ち向かうたくましい心を持つ子どもの育成となまづくりを目的としたきずな学習会」は、教育委員会が委嘱した教職員により計画立案され、解放学習（人権学習）、学力向上のための学習指導を実施している。

目標と実績	平成27年度 達成目標		平成27年度 実績	
	昨年度より参加者を増やす。		おもやい学習会（参加者：延べ543名） ◇小学生：第2・4水曜日（16:00～17:30）全21回 ◇中学生：第1・3月曜日（17:00～18:30）全20回 きずな学習会（参加者：延べ637名） ◇小学生：毎週月曜日及び水曜日（おもやいの日を除く）全32回・全学年（17:30～19:00） ◇中学生：毎週水曜日 全28回 (20:00～21:30・夏時間)、(19:30～21:00・冬時間) ◇高校生：毎週金曜日 全24回 (20:00～21:30・夏時間)、(19:30～21:00・冬時間)	
事務局自己評価	評価	人権同和教育を小さい頃から繰り返し学ぶことにより、子どもたちは豊かな人権感覚を育むことができると考え、1年を通して指導してきた。今年度は、地域の方にも指導者として参加していただき、人とのつながりを強くすることもできたと思う。形には見えないが、子ども達の閉講式で発表する姿や静かに聞く様子を見て、成長が窺え、学習の成果を感じることができた。		
	課題	おもやい学習会の小学生は、低学年から高学年まで全学年を対象とした学習会である。年齢の幅が大きいためプログラムの選択が難しいところがある。また、合同学習会においても同じようなことが課題となる。豊野町で始まった「ふれ愛学習会」（旧解放学習会）であるため現在豊野町の児童生徒のみを対象に実施しているが、人権感覚育成のためには、その他の地域でも人権教育の学習が実施できないか、人権啓発課と連携し一日講座を計画はしたが、申し込みがなく、今後教育機関への呼びかけが必要である。		

	今後の対応	今後も「おもやい」と「きずな」それぞれの指導者である人権教育係や地域人権教育指導員と教職員が運動団体と連携をとりながら、より充実したプログラム作成と日程調整に努める。また、自立に向けた知識や対応能力を少しでも構築できるような学習内容を計画する必要もある。豊野町以外での学習会については、継続しての学習会は時間的にも厳しいため、単発の一日講座を今年度も計画し、学校への呼びかけを行う。また、学童保育所を対象とした人権出前講座も実施予定である。
有識者意見		人権教育は、非常に必要な事業である。豊野町でのふれ愛学習会の学習内容について、さらに学校と連携して進めて頂きたい。
教育委員会総合評価	今後の方向性	拡充・維持・縮小・改善・完了
	付帯意見	現在のふれ愛学習会の学習内容について、さらに学校と連携して進めて頂きたい。

平成27年度 宇城市教育委員会点検及び評価報告書 生涯学習課 中央公民館係

事業名		講座の開設、運営に関するこ									
政策施策名 (総合計画)	5	ユニークな文化と心とひとつづくり～役割を担い合う協働社会の形成～									
	03	生涯学習									
	1	生涯学習の充実									
事業費	項目	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	合計				
	予算額(千円)					749	749				
	決算額(千円)					663	663				
	執行率(%)					88.5	88.5				
	人件費(千円)					22,590	22,590				
	決算額+人件費					23,253	23,253				
事業の目的											
参加者自身の社会参加や生きがいづくり・健康・文化・教養の向上を目指し個人総合的QOL(生活の質)向上を目的とする。											
平成27年度 事業内容											
高齢者を対象にした高齢者学級講座を三角町は(三角、戸馳、太田尾、郡浦、大岳)5学級、不知火町、松橋町、小川町、豊野町では1学級開催した。地域婦人会の会員や一般参加者の方を対象に募集し、女性(婦人学級)を三角町、不知火町、松橋町、豊野町で開講した。公民館主催講座を5公民館で家庭教育リーダー研修会他20講座開催した。											
目標と実績	平成27年度 達成目標			平成27年度 実績							
	参加延べ人数 高齢者学級 3,902人(26実績) 婦人学級 958人(26実績) 主催講座(19講座)1,376人(26実績)			参加延べ人数 高齢者学級 4,306人 婦人学級 843人 主催講座(21講座) 1,929人							
事務局自己評価	評価	高齢者学級は前年度と比較して増加しているが、婦人学級は減少している。 参加延べ人数は増加している。公民館新規主催講座でコミュニケーション・タブレット講座を開講し、好評を得ている。									
	課題	現代的課題や指導者養成講座を行っているが、講座生の自己表現で終わっていることが多い。受講生を増やして行くために、市民のニーズに合った主催講座の開講や講座のPR方法等を検討する必要がある。また、他市の公民館等職員との情報の共有化を図り、公民館職員としての企画力を高めることが必要である。									
	今後の対応	アンケート等を実施し市民のニーズを把握するとともに講座のPR方法等を検討し受講生を増やして行く。担当者会議等を密にし、情報の共有化を図る。なお生涯学習係、教育総務課と連携を図り、受講生が地域で活躍できるように生涯学習ボランティア派遣講座を開設する。									
有識者意見	市民のニーズにあった講座を開設し、主催講座から自主講座へと繋がるよう育成をお願いすると共に、受講生が地域で活躍できるような生涯学習ボランティア派遣講座等の開設をお願いしたい。										
教育委員会総合評価	今後の方向性	拡充・維持・縮小・改善・完了									
	付帯意見	主催講座から自主講座への移行、ボランティア養成育成講座の受講生が、地域でのボランティアするための支援をお願いしたい。									

平成27年度 宇城市教育委員会点検及び評価報告書 生涯学習課 インダストリアル研修館

事業名		各種講座運営業務									
政策施策名 (総合計画)	5	ユニークな文化と心とひとつづくり～役割を担い合う協働社会の形成～									
	03	生涯学習									
	1	生涯学習の充実									
事業費	項目	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	合計				
	予算額(千円)				164	556	720				
	決算額(千円)				175	393	568				
	執行率(%)					70.7	78.9				
	人件費(千円)					2,940	2,940				
決算額+人件費						3,333	3,508				
事業の目的											
市内誘致企業等の社員の福利厚生及び市民の文化活動・生きがい作りを推進するため。											
平成27年度 事業内容											
主催講座として、陶芸夜間（全20回）淡彩画（全16回）木工芸（全12回）健康マージャン、ポリマークリエイ（各全10回）や単発講座として夏休み親子講座（3講座）、冬では正月用の飾りつけ講座、ボトルフラワ講座を開講し、市内在住者または勤務されている方の受講があった。											
目標と 実績	平成27年度 達成目標			平成27年度 実績							
	施設利用者延べ人数 8,000人 講座受講生延べ人数 5,500人 主催講座受講者数 700人			施設利用者延べ人数 8,603人 講座受講生延べ人数 5,482人 主催講座受講者数 581人							
事務局 自己評価	評価	主催講座受講者は目標を下回った。開講できた講座の数や回数によって減少したと思われる。施設の総利用者は研修及び会議等の利用が増えたために目標を達成した。									
	課題	施設の特長及び設備等を生かした講座の開講で利用者の増加を図る。									
	今後の対応	利用者のニーズに合った主催講座を行うために、今後ともアンケート等情報収集を行い、利用者を増やしていく。									
有識者 意見	市民のニーズにあった講座を開設し、主催講座から自主講座へと繋がるよう育成をお願いしたい。										
教育 委員会 総合評価	今後の方向性	拡充・維持・縮小・改善・完了									
	付帯意見	主催講座から自主講座へと繋がるよう支援していく必要がある。									

平成27年度 宇城市教育委員会点検及び評価報告書 生涯学習課 働く女性の家

事業名		各種講座運営業務							
政策施策名 (総合計画)	5	ユニークな文化と心とひとつづくり～役割を担い合う協働社会の形成～							
	03	生涯学習							
	1	生涯学習の充実							
事業費	項目	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			
	予算額(千円)				435	435			
	決算額(千円)				390	390			
	執行率(%)				89.6	89.6			
	人件費(千円)				4,020	4,020			
決算額+人件費					4,410	4,410			
事業の目的									
職業生活と家庭生活の調和や日常生活を豊かにするため、スポーツやレクリエーション、文化教養等幅広い学習の場としての機会をあたえる。									
平成27年度 事業内容									
主催講座として、暮らしのペン文字、ワンプレート料理教室、男性ライフセミナー（各全10回）フランス料理教室（全8回）や単発講座では、はじめての手作りパン（全2回）リフトアップでアンチエイジング（1回）シェイプアップで・エクササイズ（全3回）年末の楽々！お片付け教室（全2回）などを開催した。									
目標と実績	平成27年度 達成目標			平成27年度 実績					
	施設利用者延べ人数 11,300人 講座受講生延べ人数 10,500人 主催講座受講者数 770人			施設利用者延べ人数 10,506人 講座受講生延べ人数 9,375人 主催講座受講者数 683人					
事務局自己評価	評価	施設及び講座（主催・自主）の利用者は目標を下回ったが、暮らしのペン文字は自主講座に繋がり活動をしている。							
	課題	平成28年度より松橋公民館として運営していくが、今後さらに利用しやすい施設及び魅力ある講座の開講で利用者の増加を図る。							
	今後の対応	利用者のニーズに合った主催講座等を開講する。また男性も参加しやすい講座及び施設として利用者を増やして行く。							
有識者意見	市民のニーズにあった講座の開設により、利用される方が多い施設であったと思われる。平成28年度からは、松橋公民館として利用されるので、講座の内容を検討し、主催講座から自主講座へと繋がるよう育成をお願いしたい。								
教育委員会総合評価	今後の方向性	拡充・維持・縮小・改善・完了							
	付帯意見	主催講座から自主講座へと繋がるよう支援していく必要がある。							

平成27年度 宇城市教育委員会点検・評価報告書

中央図書館

事業名		図書館蔵書充実事業												
政策施策名 (総合計画)	5	ユニークな文化と心とひとつづくり												
	3	生涯学習												
	2	市民に親しまれる図書館づくり												
事業費	項目	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源								
	予算額(千円)					13,987								
	決算額(千円)					13,360								
	執行率(%)					95.5								
人件費(千円)						32,787								
決算額+人件費(千円)						46,147								
事業の目的														
市民が身近な学習の場として図書館を利用することができるよう、また、子どもから高齢者まで誰もが気軽に学べる機会づくりを推進し、知識・学習の拠点として図書館蔵書の充実を図る。														
平成27年度 事業内容														
図書館蔵書の充実のため選書会議を開き、全館のバランスを取りながら図書を購入する。また、松橋図書館・中央図書館の統廃合、豊野図書館から豊野分館への移設に際しては、利用者各層の要求や社会的な動向等を基により良い蔵書構成を目指す。														
目標と 実績	平成27年度 達成目標			平成27年度 実績										
	全館の資料構成を見直し、蔵書の適正配置を図る。また、除籍資料の有効活用を図る。			図書購入冊数 中央(不知火)2,656冊、三角1,384冊、松橋176冊、小川2,074冊、豊野784冊 =合計7,074冊(H26 9,728冊)										
事務局 自己評価	評価	選書担当司書を中心に、全館の蔵書構成を調査・検討し、地域資料等貴重資料が散逸しないよう、移管・整理作業に努めた。また、除籍資料を教育施設・行政区・福祉施設などに譲渡し、有効活用に努めた。												
	課題	より良い蔵書構成を支える司書の選書・除籍に関する知識・技能を向上させるため、中長期の採用・研修計画が必要である。												
	今後の対応	全館の連携体制の中で、より良い蔵書構成となるよう、情報共有・研修会を充実させたい。また、非常勤・臨時職員採用に当たっては司書資格や図書館勤務経験を重視したい。												
有識者 意見	松橋図書館がなくなったことを踏まえ、全館・移動図書館・街なか図書館との連携を図り、長期休館で利用者の本離れに繋がらないように検討をお願する。													
	蔵書については、閉館時も新刊を購入し図書の充実を図り開館に向け整備をお願いする。													
教育 委員会 総合評価	今後の方向性	拡充・維持・縮小・改善・完了												
	付帯意見	利用者の利便性を考え、休館している間の貸し出し方法の検討をお願いしたい。												

平成27年度 宇城市教育委員会点検・評価報告書

課 中央図書館

事業名		図書館施設の統廃合事業									
政策施策名 (総合計画)	5	ユニークな文化と心とひとつづくり									
	10	行財政改革									
	1	総合的な行政運営体制の確立									
事業費	項目	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	合計				
	予算額(千円)					36,308	36,308				
	決算額(千円)					35,184	35,184				
	執行率(%)					96.9	96.9				
人件費(千円)											
決算額+人件費(千円)						35,184	35,184				
事業の目的											
施設の老朽化及び耐震不足を踏まえ、統廃合により効果的な運営に向け機能集約を行い、各図書館の役割分担を見直し、より効率的・効果的な運営を目的とする。											
平成27年度 事業内容											
中央図書館と松橋図書館を統合し松橋図書館を廃止、業務を中央図書館で集約。 豊野図書館を豊野支所へ移転、中央図書館分館とする。											
目標と実績	平成27年度 達成目標			平成27年度 実績							
	年度内での統廃合の実施 (閉館及び統合後の開館)			7月松橋図書館の閉館、11月中央図書館へ統合開館。11月豊野図書館移転準備、3月中央図書館分館として開館。							
事務局自己評価	評価	老朽化した施設の維持管理費など、運営経費を削減できた、また、書架・蔵書の有効活用のため、全館のレイアウト・蔵書構成を見直す機会となつた。									
	課題	人口密集地で教育・福祉施設も多い松橋地区の図書サービス維持が課題である。									
	今後の対応	宇城市全域の図書サービスを効果的・効率的に展開するため、移動図書館を含めた5図書館(分館)の事業のあり方について検討する必要がある。									
有識者意見	新しい発想・アイディアを活かして図書館サービスの充実を図り、廃止になった図書館の利用者の流れを把握し、なるべく身近で借りられるよう検討をお願いする。										
教育委員会総合評価	今後の方向性	拡充・維持・縮小・改善・ <u>危</u> <u>丁</u>									
	付帯意見	移動図書館のステーションの見直しや松橋ブックサービスを充実し、身近で本が借りられるよう検討をお願いしたい。									